

# 平成30年度 事業報告

(自：平成30年4月1日～至：平成31年3月31日)

## I. 基本方針

1. 「公益法人制度改革」により、平成25年4月1日に一般社団法人三島田方法人会としてスタートし、本年度は6年目となりました。
2. 事業展開にあたっては、本年度も法人会活動の原点である『税』に軸足を置き、会員以外の一般の方も対象として『納税意識の向上』『税制への建設的提言』『自己研鑽機会の提供』『地域社会への貢献』など諸活動を親会・青年部会・青年部会OB会・女性部会一体となって積極的に実施いたしました。
3. 経済情勢や法人会を取り巻く厳しい環境に十分配慮しながら、会員増強運動展開し、新規会員87先・内賛助会員8先獲得、平成31年3月末、会員数2,763先(内賛助会員47先)となりました。

## II. 主な事業

### 1. 公益関係

#### (1) 税知識普及事業

##### ① 「税法・税務関係研修会の開催」

会員企業及び一般の方々を対象に三島税務署の支援を得て、税知識向上を図るため「平成30年度税制改正セミナー」を開催実施いたしました。

##### ② 「租税教育活動の展開」

青年部会により、3市1町の小学6年生・中学3年生を対象に、1,204名の児童に租税教室を15校(小学校13校・中学校2校)で開催実施しました。また伊豆総合高校の2年生を対象にした「商品開発」と「給与明細と会社経営シュミレーション」を内容としたキャリア教育を4月2回、6月1回、9月1回、11月1回、2月1回計6回実施しました。商品開発では、地場商品である「鹿の革」を使用した新商品の開発に努めました。

#### (2) 納税意識高揚事業

- ① 女性部会による3市1町の小学5年生・6年生対象に「税」をテーマに、「第7回税に関する絵はがきコンクール」を開催、三島税務署管内32校の内23校の児童により896作品の応募がありました。税についての理解と意識高揚が図れました。入賞作品の展示も3か所で行いました。

また、「夏休み子ども税金教室」を開催し78名の児童が参加して「税」の理解と意識啓発を行いました。同日三島税務署、三島青果市場、山中城址等も見学されました。

## ②税の広報事業

会員企業及び一般の方々を対象に、三島田方法人会の「のびゆく法人」会報誌及び、三島田方法人会ホームページにて「税」についての様々な広報活動に努め、3市1町の教育委員会並びに小学校・商工会議所・商工会・金融機関等に会報誌を配布いたしました。

③ また“税を考える週間”には女性部会支部役員が各地域の商工祭等に積極的に参加し、三島田方法人会の活動と「税」に関するパンフレット、チラシ、花の種を3,300個配布と「子ども税金クイズ」を通じ、会員外の一般の方々に対する『税』の啓蒙活動を実施しました。

④ さらに、「e-Tax」をはじめとする『税』の電子申告・納税システムの推進については、税務署職員の協力を頂き、e-Taxセミナーを開催して会員企業役員・経理担当者の参加により更なる普及に努めました。

⑤ 「自主点検チェックシート」の活用による企業の税務コンプライアンス向上に努めました。

## (3) 税制提言事業

会員を対象に税制改正についてアンケートを行い、意見・要望をもとに静岡県法人会連合会、全国法人会総連合と連携して税制改正要望書を取り纏め、11月9日に地元選出の細野豪志国会議員に、11月14日・30日に豊岡三島市長と鈴木市議会議長に提言活動を行い、建設的な意見交換を行いました。

## (4) 地域企業発展事業

地域企業及び一般の方々を対象にビジネスセミナーを1回「働き方改革宣言実務セミナー」またAIG損害保険(株)主催の企業に求められる医療・健康セミナーを1回開催しました。

新春特別講演会・青年部会創立30周年記念講演会「講師 京谷和幸氏」、女性部会創立30周年記念講演会「講師 田嶋陽子氏」を含め講演会は4回開催、講師の方々より色々のテーマでご講演頂きました。

平成30年度合同入社式を平成30年4月2日に開催致しました。当日8社19名の出席を頂き地元中小企業に入社した社員同士が、企業は違っても同期としての仲間意識を持つことが出来ました。また同日外部講師によるビジネスマナー講座も開催しました。

8月には、伊豆箱根鉄道沿線の高校へ通う高校生対象に「短期インターンシップ」を実施し、10名の高校生に地元企業で職場体験をして頂きました。企業の魅力と郷土に関する正しい知識を身につけることが出来ました。

昨年度「青年の集い全国大会」高知大会に於いて、当法人会の租税教育活動の発表を見られたのがきっかけで、10月19日(一社)東毛法人会(館林市)と租税教室・キャリア教育主体の情報交換会を開催しました。有意義な意見交換が

図られました。

## (5) 社会貢献事業

青年部会はチャリティー募金活動を行い、今年度も「伊豆の国市児童発達支援センターきららか」に記念植樹（金木犀）を3月行いました。ボランティア活動は、定例化しています。3月17日伊豆総合高校の生徒と青年部会で修善寺駅北口周辺の清掃活動を行いました。

女性部会では、創立30周年記念事業として、葦山混声合唱団によるチャリティーコンサートを1月28日に開催しました。社会福祉法人静岡恵明学園へ145千円を寄付致しました。

## 2. 共益事業

### (1) 福利厚生事業

財政基盤強化と会員企業経営の安定・保全と経営者又は従業員の福利厚生制度の一層の充実を目的として、大同生命保険・AIG損害保険・アフラックと同行訪問等連携して、法人会の福利厚生制度商品の推進をいたしました。

保険料収入の増加に伴い、助成金・補助金の増加につながりました。

「ふやそう2万社GOGOキャンペーン」最終年度であり、目標達成に向け会員への意識付けを図りました。

またAIG損害保険（株）主催「賢者の名言」ラジオCMへ4社出演し、会員企業のPRに努めました。

### (2) 会員支援交流事業

①会員を対象に税制改正セミナー、ビジネスセミナー講座（1回）、健康経営セミナーを企画し会員の要望に添う研修を行いました。

特に後継者問題に際し「事業承継セミナー」は、2回開催致しました。

②会員サービス

イ. 法人会提携ローン

ロ. 「早割電報」紹介サービス

ハ. インターネットでセミナー受講「セミナーオンデマンドサービス」

ニ. 「法人会メリットカード」の周知と特約店が提供する「会員向け特典」を会員に利用していただけるようにPRしていきます。また特約店の増加を推進していきます。またメールマガジン配信開始に伴う会員の登録の推進に努めましたが、6件と低調でした。

ホ. 中小企業向け貸倒保障制度（引受保険会社：三井住友海上火災保険会社）

二. 「自主点検チェックシート」の活用・推進に伴う「さんしん・法人会提携ローン」のキャンペーンを積極的に協力しました。

### ③支部活動

支部活動に対しては、活発な支部活動の展開により、会員との連携・協力を図り会員企業の事業発展と支部意識高揚を図るよう努力いただきました。

### ④ 親会・青年部会・女性部会創立 30 周年記念事業

親会では、「社団化 30 周年記念誌」を制作しました。3,500 部発行。  
平成 30 年 5 月 13 日女性部会創立 30 周年記念式典・祝賀会を開催。  
平成 30 年 9 月 28 日青年部会創立 30 周年記念式典・祝賀会を開催。  
会員の結束・強化を図ることが出来ました。

### (3) 会員増強事業

平成 30 年 12 月末会員数は各支部の推進により 2,850 社を達成致しました。加入率は 65.5% で県下法人会第 2 位でした。  
支部会にて会員増強推進運動への積極的な展開を行ってきました。平成 30 年度は、87 社の新規獲得実績となりました。

## 管理関係

### 1. 規程

「定款」「職員就業規則」「非正規職員規程」「女性部会会則」「職員給与規程」の一部改正を行いました。

### 2. 諸会議

①～⑦の会議等を計画、開催した。

①総会

②理事会

③正副会長・監事会

④各委員会

⑤支部会

⑥青年部会の諸会議・女性部会の諸会議

⑦その他必要な会議

### 3. 事務処理

(1) ガバナンス強化を含めた事務管理の厳正を図りました。

(2) 平成 28 年からスタートした「マイナンバー制度」に沿った適正な事務処理の遂行に努めました。

(3) 事業の削減を検討し、事務量の軽減を図るべく課題の抽出を求めました。